

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代組織論		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
小林美雪	407	m.kobayashi	水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要	<p>ひとは複数の組織に属して生活している。組織とは有機体であり、意思と秩序で形成された集合体である。多様化する現代の生活様式や思考傾向の中で、ひとびとの自己実現と他者の生活に貢献する組織について学ぶ。自己の所属する身近な組織や医療機関の在り様をディスカッション等で理解する。</p>				
授業形式・方法	<p> <input checked="" type="checkbox"/>対面授業 <input checked="" type="checkbox"/>講義 <input type="checkbox"/>演習 <input type="checkbox"/>PBL <input type="checkbox"/>反転授業 <input type="checkbox"/>ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/>グループワーク <input checked="" type="checkbox"/>グループワーク <input checked="" type="checkbox"/>プレゼンテーション <input type="checkbox"/>実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/>実習 <input type="checkbox"/>実 <input type="checkbox"/>その他 () </p>				
学習上の助言	事前、事後課題に取り組み、積極的に講義・ディスカッションに参加すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	「組織」「組織とひと」について説明できる。		HSU(1)(2)(5)NS(1)		
②	組織に所属することの目的や意味について説明できる。		HSU(1)(2)(5)		
③	組織が有機体であるために必要な要素と行動について説明できる。		HSU(1)(2)(4)(5) NS(1)		
④	「組織の倫理」について説明できる。		HSU(1)(4)(5) NS(1)		
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	授業オリエンテーション 「組織」「組織とひと」について学ぶ	講義	事後課題①：授業での学びをノートにまとめる。	4	
2	「現代の組織」について学ぶ (現代の特徴/組織デザイン等)	講義	事後課題②：授業での学びをノートにまとめる。	4	
3	組織に所属することの目的、意味について身近な組織を基に学ぶ	グループワーク/プレゼンテーション	事後課題③：グループワークの内容と自己の考えをノートにまとめる。	4	
4	組織が有機体であるために必要な要素と行動について学ぶ (マネジメント/コミュニケーション/リーダーシップ/メンバーシップ等)	講義	事後課題④：授業での学びをノートにまとめる。	4	
5	組織が有機体であるために必要な要素と行動について身近な組織を基にディスカッションする	グループワーク/プレゼンテーション	事後課題⑤：グループワークの内容と自己の考えをノートにまとめる。	4	
6	「組織の倫理」について学ぶ(組織の倫理とは/ガバナンス/社会的行動等)	講義	事後課題⑥：授業での学びをノートにまとめる。	3	
7	「組織の倫理」について事例を基に学びを深める	グループワーク/プレゼンテーション	事後課題⑦：グループワークの内容と自己の考えをノートにまとめる。	3	
8	医療、福祉施設の有機的な組織体系と目的について学ぶ	講義	事前課題①：病院の組織図をインターネットや病院案内パンフレットから探して印刷して持参する。	4	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	20	10	55	15	100	
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5	
	思考・推論・創造する力	0	5	0	20	0	25	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	5	10	10	10	35	
問題を見発見・解決する力	0	5	0	25	0	30		
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					フィードバックの方法	
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	「授業を受けて考えたことと学んだこと」についてレポートし提出する。レポート内容の深さで20%評価する。(1500字以上)					授業内で共有する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	グループワーク/プレゼンテーションへの参加状況を10%評価する。					
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	A4ノートにまとめた事後課題①～⑦への取り組み状況を55%評価する。					授業内で共有する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業への取り組み姿勢、意欲を15%評価する。					
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他担当教員								
教員の実務経験	看護師として23年の臨床経験を有する。							
実践的授業の内容	看護師として病院勤務や医療行政の経験を有する教員が、その経験と知識を活かし、組織についての基本的な知識の修得を目指す。							
その他	<p>・A4ノートを1冊用意して、事後課題についてまとめ、ポートフォリオとして、授業終了後に提出する。</p> <p>・レポートは、A4用紙両面を使いまとめ、時間厳守で提出すること。期限を過ぎると受け取ることはできない。</p> <p>・面接授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。</p> <p>・問題がある場合は授業への参加を認めない。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、知らせることとする。</p>							